

第5回伊賀・山城南・東大和定住自立圏推進協議会 会議録

開催日時	令和4年1月21日（金）10：00～10：40
開催場所	伊賀市役所5階 会議室501
出席者	<p>【伊賀市】</p> <p style="padding-left: 2em;">岡 本 栄（市長）</p> <p style="padding-left: 2em;">大 森 秀 俊（副市長）</p> <p>【笠置町】</p> <p style="padding-left: 2em;">中 淳 志（町長）</p> <p>【南山城村】</p> <p style="padding-left: 2em;">平 沼 和 彦（村長）</p> <p>【山添村】</p> <p style="padding-left: 2em;">野 村 栄 作（村長）</p> <p style="padding-left: 2em;">前 川 喜 正（副村長）</p> <p>【事務局】</p> <p style="padding-left: 2em;">藤 山 善 之（伊賀市企画振興部長）</p> <p style="padding-left: 2em;">風 隼 徳 彰（伊賀市企画振興部次長）</p> <p style="padding-left: 2em;">中 矢 裕 丈（伊賀市企画振興部総合政策課長）</p> <p style="padding-left: 2em;">竹 森 昭 治（伊賀市企画振興部総合政策課主幹）</p> <p style="padding-left: 2em;">内 田 達 也（伊賀市企画振興部総合政策課主任）</p> <p style="padding-left: 2em;">森 本 貴 代（笠置町総務財政課担当課長兼会計管理者）</p> <p style="padding-left: 2em;">井 上 浩 樹（南山城村企画政策課長）</p> <p style="padding-left: 2em;">橋 本 昌 貴（南山城村企画政策課課長補佐）</p> <p style="padding-left: 2em;">井久保 幸 男（山添村地域振興課長）</p> <p style="padding-left: 2em;">梶 田 拓 哉（山添村地域振興主事）</p>
欠席者	
会議概要	<p>1. 開会</p> <p>（事務局）</p> <p>お待たせいたしました。</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから、第5回伊賀・山城南・東大和定住自立圏、（略称）伊賀城和定住自立圏推進協議会を始めさせていただきます。</p> <p>私は、議事に入るまでの間、進行をさせていただきます、伊賀市企画振興部次長の風隼でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>さて、この会議については、運営規程で原則公開とし、会議の傍聴を認めておりますことから、本日の会議を傍聴される方、報道関係者の撮影等をあらかじめ許可しておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>

次の事項に進める前に、推進協議会の名簿をご覧ください。

本日の推進協議会より構成メンバーの変更がありましたのでご紹介させていただきます。

山添村長の野村 栄作 様、副村長の前川 喜正 様でございます。初めてですので一言ずついただければと思います。

(野村副会長)

お正月も過ぎまして、もう1月末になります。皆さんとお会いするのは今年初めての方もおられますので、改めましてあけましておめでとうでございます。本年もよろしくお祈りいたします。今、紹介いただきました山添村の村長になりました野村と申します。昨年の9月になったばかりで、やっと5ヶ月目に入ったばかりで日々勉強の毎日です。行政畑ではなくて学校関係の仕事しかしていなかったものですから、分からないことばかりで、皆様、足手まといになるかもしれませんけれども、副会長という形で一生懸命させていただきますので、ぜひともよろしくお祈りいたします。

(前川委員)

山添村副村長の前川と申します。昨年10月4日に野村村長のご推薦をいただきまして、副村長に就任させていただきました。どうぞよろしくお祈りいたします。私は以前、山添村の職員として勤めておりました。保健福祉課長という職にありました。そのような関係でこの定住自立圏の連携につきましても、担当課長として色々とお世話になってまいりました。立場は変わりますけれども、引き続いて連携に努めていきたいと思っておりますので、ご指導いただきますようよろしくお祈り申し上げます。

2. あいさつ

(事務局)

それでは、お手元の事項に沿って進めさせていただきます。

まず、はじめに当推進協議会の会長であります、伊賀市長 岡本 栄よりごあいさつ申し上げます。

(岡本会長)

本日は大変お出ましにくい中おいでいただきました。また、私どもの方ではまん延防止が今日から発令されております。皆様の所も近々というふうに伺っております。早くこうしたことが収まればなと思っているわけですが、まず、皆様方にはこれまで定住自立圏を始めさせていただいて、一緒に色んなことを勉強し、また、しながら、この時間が過ぎてきたことを感謝申し上げたいと思います。人口の増減の数値を見ますと、中々それぞれお互いに厳しいところがあるエリアだと思っておりますが、やはりそれぞれに一生懸命我々は何をしたら良いのか、持っているものを持ち寄り、弱みを助け合って、そして一つの生活圈、文化圏、経済圏の中で頑張っていくことがま

	<p>すまず必要になってきたのかなと思っております。そういう意味で、この第2期共生ビジョンについて最終案の確認もやっていただきますし、また、様々なご意見もいただきたいと思います。それから、この圏域を象徴するようなロゴマークについても提案がございますので、こうした状況の中でますますそういうことが必要かなと思っております。よろしくご審議をいただければと思います。</p>
	<p>3. 議事</p> <p><u>(1) 第2期共生ビジョン (最終案) について</u></p> <p>(岡本会長)</p> <p>それでは、事項の最初、第2期共生ビジョン最終案について事務局から説明いただきたいと思う。</p> <p>(事務局)</p> <p>★資料1-1「中間案からの主な修正箇所」</p> <p>★資料1-2「第2期共生ビジョン (最終案)」について説明。</p> <p>(岡本会長)</p> <p>色々、それぞれの首長さんにお伺いしたようなことも含めて少し変更をして、進化させていったという感じかなと思いますが、ただいまの説明について、何かご質問等ありましたらお伺いしたいと思いますがいかがですか。</p> <p>(岡本会長)</p> <p>また思うところがありましたら追々伺いますが、それではとりあえず、この推進協議会として、この第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョンについて承認をいただけるということによろしいですか。</p> <p>—異議なし—</p> <p>(岡本会長)</p> <p>ありがとうございました。これをもって一段と進化したコンセプトの基に一丸となって様々な課題を共有し、頑張ってまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p><u>(2) ロゴマーク (案) について</u></p> <p>(岡本会長)</p> <p>少し冒頭でも申し上げましたが、ロゴマークというものを見える化の一つとしてどうかということで、事務局説明いただけますか。</p>

(事務局)

★資料2「ロゴマーク(案)」について説明。

(岡本会長)

今、説明のあったように、明るい感じのトーンで色合いをいただいた。それから、伊賀城和のそれぞれの地域について、文字の中に色を落とし込むというような工夫がある。これを、例えばこの圏域のステッカー等にして自動車に貼るとか、色んな場面に使っていくといことも、これでお洒落にできるのではないかと思います。委員の皆様、何かご意見がありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(岡本会長)

南山城村さん、笠置町さん、山添村さんとの間に、薄黄色の箇所があるのですが、これは、正式な加入地域ではありませんが、実は月ヶ瀬です。この定住自立圏で非常に難しいのは、すでに他のエリアに併合されてしまった所は、いかに付き合いがあっても入ることができない。ただし、この月ヶ瀬村や、いずれまた一緒になるのですが、名張市の向こうの太郎地区というのは津市に入ってしまったのだが、そのあたりの扱いというのは、定住自立圏の一つの課題で、オブザーバー参加みたいなものがあればと思う。今まで月ヶ瀬は我々と本当に親しい関係にあって、月ヶ瀬マラソンでも行きましたし、色んな付き合いがあって、お勤めでも買い物でもまた相互に補完関係があったのですが、奈良市になってから一切行政的な情報が入ってこなくなりました。そういう点は民間でしっかりと頑張ってくださいということで、でも関係ある地域だということで、少し匂わせてあるというものがこの薄黄色の箇所です。そんなことも思いながらでありましたが、ご意見なければこのようなことでお願いしたいと思いますが、よろしいですか。

—異議なし—

(事務局)

今、ロゴマークのご承認いただきましたので、圏域証を少しリニューアルしたいと思っています。今からお配りしますので、確認をよろしくお願いします。ロゴマークを反映したものにして、前のものを活かしながら、少しバージョンアップを図ったというものです。色もロゴマークと合わせたものになっています。

(岡本会長)

ご意見があればお願いします。

	<p>(中委員)</p> <p>圏域証は非常に重宝させていただき、住民からも伊賀市に買い物に行きたいというような声があり、圏域証がありますよということで、役場にも配置して、相当数住民の方々にお持ち帰りいただいた。ネットにも載せ、打ち出せるようにしてご活用いただいた。今回新しくこういう圏域証を作っていただき、非常に晴れやかで明るい圏域の将来を象徴するようなそういう明るい色になってうれしく思います。</p> <p>(平沼委員)</p> <p>私どもも、この圏域証ができた時に非常に喜ばれ、好評でした。それからコロナも落ち着いた時に少し忘れかけているところもあるのかなと思うのですが、今新たにこういった新しい圏域証ができたということで、またこれを広めていこうと思います。少しまた、コロナも感染が広がってきましたので、またこれを活用させていただきたいと思います。</p> <p>(野村副会長)</p> <p>私はまだ5ヶ月目なので村民からの様々な意見を把握しているわけではないのですが、私自身が前の圏域証を車にいつも入れさせていただき、伊賀に行く時には活用させてもらっています。また新しいものができまして、本当にぱっと見だけでも心も温かくなりますので、ぜひともこれを村民に広めて、活用させていただきたいと思います。</p> <p>(岡本会長)</p> <p>色彩設計がうまくできて、未来感が出てきたという感じかなと思います。では、そのようなことで皆さま方ご了承いただけるということでよろしいですか。</p> <p>—異議なし—</p> <p>(岡本会長)</p> <p>ありがとうございます。では、これで一応の議事は終了いたしましたので、事務局にお戻しします。</p>
	<p>3. その他</p> <p>(事務局)</p> <p>それでは、最後に4.その他に入らせていただきます。</p> <p>議事以外の部分で、会議全体を通して、委員の皆さまから、何かご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。</p>

(岡本会長)

笠置町さんが今日お菓子を持って来て下さった。それについてお伺いしたい。

(中委員)

笠置に、ターゲットを絞った観光事業をやろうということで、ファミリー向けのお土産がなかったため、予算づけをして開発してもらった笠置の「雲海もち」という商品です。もう1つ、どら焼きと2種類作っていただきました。非常に好評ですが、町内にこういったお菓子を作る所が無かったので、残念ながら外注した。ただし、こういうお土産を作れば売れるということを、町内の事業者さんに見ていただこうと考えて、作らせていただいた。あまり甘くないので、お茶うけにも使えるかなと思います。

ここで急に言い出すのもなんですが、最近、JRがバスにするとやっているの、そのあたりの事についてまた協議させていただけたらありがたいなと思っています。1日の乗降客2,000人未満の所はバスに変えていくというようなことは言っていて、関西本線が入っているの、大変なことになる。我々はJR利用者を増やそうと思って一生懸命頑張っているのに、急に話が出てきた。JRも入っている協議会もあるので、そのあたりも協議していきたいと思っていますが、色んな観光資源がありますし、JR関係でも観光資源がありますので、何とかJRの乗降客が増えないかなと思う。最近YouTubeでも、いわゆる乗り鉄という人が関西本線に乗って、色々情報発信していただいている、さらには色んな建築遺産もありますので、そういうものを紹介していただければと考えていますので、沿線の方々のご協力をお願いしたい。それから、道路交通網もだいぶ整備が進んできていますので、そういった部分もどういふふうに影響するのかということを検討会議のようなものを開いていただけたらありがたい。

雲海もちの宣伝ですけど、今の時期はちょうど晴れますと、放射冷却で霧ができて雲海になる。できるだけ笠置山に登ってもらえるように色々仕掛けを考えたいと思っています。皆様よろしく願いいたします。

(岡本会長)

今、鉄道の話があった。関西本線の首長会議もありますが、中々、我々は前向きだが、JRさんはどこか縮み志向の方が大きくて、交渉しようとか将来の可能性を探るということ、もう少し我々も具体例を持って提案していただくことも大事なかなと思います。我々のエリアにとって、鉄道は道みたいなものなので、それが無くなるということが、やはり、その地域のエリアプライド、あるいはイメージにも関わってくるということなので、頑張っていきたいなと思いますし、色んな場面で、共有していきたいと思っております。

(平沼委員)

第2期ビジョンの事業NO. 2512にふるさと納税を通じて関係人口創出ということで、昨年提案させていただいた。伊賀市さんとコラボしながら、そういった商品を作っていくということで、ふるさと納税も伸びてきていますので、こういったところでコラボ出来て、収入をあげることに、また関係人口創出ということに繋げていきたいと思う。ふるさと納税の中で、うちもそういった施設は少ないのですが、黒川紀章が設計したクラシック用のコンサートホールがありますので、活用できないかということでふるさと納税に出させていただいたら、結構これが好評で、1日使用できるものとか、ピアノが弾けるものが3時間2万円ということをしているのですが、もう10数件応募があった。そういったことで、数少ない施設ですが、ご利用いただくということで、何とか貢献できるのかと思う。

もう1つは、村タクを走らせて今年で2年目ですが、徐々に業者も増えてきている。エリアが今のところは西の方面だけで、木津駅、加茂駅、笠置なのですが、伊賀方面に行きたいというニーズがかなりあり、それを伊賀市さんとも話をされているのかなと思うが、島ヶ原地区だけでも行かせてもらおうと、買い物もできますし病院にも行けるということで、そんなことをお願いもしている。それと、村にホテルが去年3月にオープンしたのですが、夕食はそこではとれないということで、そういったお客さんを伊賀市の方に案内させていただき、伊賀市の方で伊賀牛を食べていただくとか、そういったことで結びついていけば、お互いに関係人口等を増やしていけるのではないかなということで、そのあたりを、もう少し結びつきを強くさせていただいて、事業者があるということで、そこは1つのハードルというのか、壁になっているが、それに触れないところで、またそれは双方向でこちらからのお客さんもまた村の方にも案内できるという使い方を今後考えてもらえたらなと思っております。

(岡本会長)

私どももそうしたことは大事なことだと思っておりますし、皆様からのご提案を受けて、しっかりと事務局同士でのすり合わせをし、事業を創出していきたいと思っております。

(野村副会長)

先ほど関西本線の話が出たのですが、残念ながら山添村には鉄道が無くて、交通機関としてバスの方がやはり重要になってくる。村としましては三重交通、奈良交通にお世話になっているのですが、先ほども言われたように中々、乗車人数が少なく、通学に使う子たちはいるのですが、通勤の場合はほとんど皆さん車で行かれるので、あとは買い物に少し使うという形だけで、中々、三重交通や奈良交通さんにも配車してもらえないということで、今、村としてもコミュニティバスを中心に動かさせていただいている。それから、福祉センターの方で、タクシーの代わりになっているのですが、1キロ100円という形で、そういったものを広めている。特に、高齢者が増えて、

免許を返納する方々が増えてきていますので、交通弱者や買い物弱者の方々のための取り組みは絶対にしていかななくてはならないと考えています。そんな中で1つ、当初から私も提案しているのが、各家にタブレットを導入し、そこから色々な情報を得たりとか、あるいは村民から依頼があったり、ボタンを押したらタクシーが来るとか、買い物をしたいお店に直接繋がって、こんなものが欲しいと言ったら届けてもらえるとか、そういう便利さ、安全性を追求したようなタブレットを導入しようということを最初提案していたのですが、ここにきて、特に奈良の南の方で防災情報アプリというものが使われているということを知り、タブレット導入の前に村の情報を確実に届けられるようなアプリを村として作成してそれを村民に広めていく。今まで情報はホームページや、11チャンネルというテレビがあるのですが、それと新聞折り込み等の情報ですと、どうしてもこちらから発信するが、それを中々、村民に見てもらえない。あるいは、新聞を取っていない家には届かないということがあったが、アプリならスマホを持っている方でしたら、情報が来たことがすぐわかりますので、そのようなアプリを通して、村の情報や、例えば今なら、コロナワクチンの3回目接種の情報を確実に届けられるのではないかなということ考えている。そういったデジタル化に関する事業がビジョンにあったと思うが、できたらそのアプリを圏域内でも共有して、全ての市町村の情報が山添村でも見られるような形にすれば、情報が行き渡って良いのではないかなと思っています。そういうアプリの開発を、一緒にできたらなと思っています。実は、買えばあるものだが、やはり独自のものを作っていくことは必要だと思うので、そのあたりのことを進めて行こうと考えています。

それからこれも提案ですが、医療関係で例えば事業 NO. 1111、住民の医療、特に山添村は三重県の病院等にかかることが多くあり、そのような時に、窓口負担がどうしてもかかっている。奈良県内でしたら窓口負担も必要なく、お金を払わずにいけるので、何か圏域内でそういう窓口負担を無くすような取り組みができないかなと考えています。特に、住民の方々から要望がすごくあり、奈良県では払わなくてよくて、何故、よくかかっている三重県では払わないといけないのかということがあり、切実な願いで、早期には無理かもしれないが、努力していますという話をさせてもらっているので、ぜひとも窓口負担に関しては、この域内で無料化にならないかなということで、進めてもらえないかなと考えています。

あと、今、神野山一帯の観光化を考えています。もう皆さんに神野山という山を知ってもらっていて、そこには「めえめえ牧場」というものがあり、羊がいて、そこに行けば子供連れで1日位過ごせるという場所があるのですが、中々、観光資源として発揮できていない面がある。なぜかという、施設が点在している。それを一つに固めるということは難しいですが、今は、関西で星が一番綺麗に見える山と言われています。それもあり、夜になると、天体望遠鏡を持った方々が並ばれるのですが、結局見たらそのまま帰ってしまって、全くお金を降ろしてもらえない。そういうようなことで、できたらそこに宿泊施設を作りたいなと考えています。グランピング、それ

から元々キャンプ場があったので、そのキャンプ場を整備する。それと、今、羊は羊毛だけを活用しているのですが、売りになるとしたら、羊肉をやはりやっていった方がよいのではないかとということで、グランピングであるとか、キャンプ場、それから今日も朝からテレビを見ていたら、サウナのことが出ていたのですが、フィンランドサウナというものがすごく流行っているらしく、そのあたりのことですか、そういうような施設を導入して、神野山一帯にもっと多くの人たちに来てもらう施策をこれからしようと考えています。そんな意味で、この域内でも観光を通して何か連携できるようなことをもっと考えていけたらなと思っています。

最後ですが、32 ページに高校の話がありました。特に山添の中学を卒業した子たちは、去年の4月の時点で、18名中11名は三重県の方にお願ひさせてもらっています。伊賀が4名です。逆に三重から山添分校にもたくさん来ていただいています、今年はなんと、15名中15名が三重県の子だということです。つまり、奈良県の学校でありながら、奈良県の子たちはいないという、そういう状況。そんな形で、高校や中学の交流というのは今も実際にされていて、あとは、ここにもあるような小学校、中学校によるタブレットを通じた交流ですとか、それはどんどんと今後とも進めていけるようにしていきたいと思っていますので、ぜひともよろしくお願ひします。

(岡本会長)

今、教育の話をしていただきましたが、今日、実は県庁へ行く用事があります。いくつか言おうと思っている中で、その件もあります。奈良県側さんとは協定があつて、現在も生きている。我々の時代は、伊賀の高校に南山城、笠置、大河原の子が来ていましたが、いつの間にかその協定が蒸発してしまったようで、生徒を受け入れるためにはもう一度協定を結ばないといけないというようなことを言われるので、一言言おうと思っている。やはり将来を担う子供たちが、分け隔てなくチャンスを与えられるということは良いことだと思いますし、山添村長さんおっしゃったように、それこそこの圏域のやらなければならないことの1つかなと思っているので、そのあたりも頑張りたいなと思います。

それから、情報発信に話がありました。私たち伊賀市の方では、おっしゃるようにプッシュ型のものでできないかということで、防災情報を届けるために、今、プラットフォーム、アプリを使っています。おっしゃったようなことを伊賀市でやろうと進んでいるわけですが、その中でやはり協働できる部分というのも付加していけるのかなと思ったりもしますし、お互いに必要なことを、そうした所で何か載せていければ良いかなと思わせていただいた。

それから観光の話、これは前から笠置町長さんからの宿題をいただいているわけですが、良いお話をそれぞれの皆さんが考えていただいている。やはり点ではなく面であつて、あるいはルートであつて、というようなことをしっかり考えていきたいなと思っています。またどうぞ皆さん一緒に頑張りましょう。

それから情報発信。今まで情報共有だけだったのですが、確かに定住自立圏の中で情報の共有ということは大事だし、子どもたちにもしっかりとエリアプライドを持っていただくということも大事ですが、それと同時に、この3府県に跨る地域が一つになって頑張っているということ、色んな関係の地域の皆さん、あるいは国にそういう頑張っている姿、あるいは有効性をアピールしていくことが大事なことであろうと思う。そんな情報番組といいますか、情報発信のものを作っていったらどうかと思ったりしています。

(事務局)

ありがとうございます。他よろしいでしょうか。

それでは時間もまいっておりますので、本日の会議の方、終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。